

令和2年7月26日

全国小学生バドミントン大会茨城県予選に係る新型コロナ感染予防策

新型コロナウイルス感染防止として、以下の対策を講じます。

- (1) チーム内感染者及び感染疑いの関係者が発生した場合の報告と辞退。
 - ・2020年7月25日(土)以降、加盟チーム内に、感染者及び感染者との濃厚接触が発生した場合は、速やかに大会事務局へ報告する。
 - ・報告はプライバシー保護の観点から個人特定するような情報提供は必要なし。
 - ・チーム関係者に該当と思われる存在の在ることのみ報告。
 - ・その場合 該当チームについては、今大会に参加することはできない。
 - ・また、申込後及び大会当日であっても、同様の報告を受けた場合は感染リスクが考えられるため、該当チームには大会参加を辞退頂く
 - ・なお、主催側判断で大会を中止・中断措置もある
- (2) 入場制限
 - ・石岡及び下館の両体育館とも入場者数の制限あり
石岡：280人
下館：250人
 - ・上記の人数は選手、監督・コーチ・保護者、大会スタッフ（本部、審判）、の総数
 - ・入場できるチームの監督・コーチ・保護者数は本部で定めた人数とし、下記（3）の検温を受け、様式に記載した人とする。
 - ・上記以外の保護者は、選手がいつでも帰宅できるように体育館の外で待機（車等）
 - ・各種目のエントリー数等を基に開催日別の入場数と各種目を決定
※8日で消化できなかった試合は翌日ではなく10日に実施
- (3) 検温の実施
 - ①8月1日からの検温
 - ・選手、監督・コーチ・保護者、大会スタッフ（本部、審判員）は、8月1日から大会当日まで、検温を実施
 - ・各チームの引率責任者は、選手、監督。コーチ・保護者の体温を事前に配布していただいた様式に記載
 - ・大会スタッフも大会スタッフ用の書式に記載
 - ②体育館前での検温
 - ・選手、監督・コーチ・保護者、大会スタッフは、体育館に入場する際に検温を実施
 - ・検温はチーム毎に実施。
 - ・37.0度以上の場合、再検温を実施（再検温は違う測定器で実施）
 - ・再検温でも37.0度以上の場合は帰宅
 - ・検温前にはウォーミングアップは行わないこと。
- (4) 消毒
 - ・選手、監督・コーチ、大会スタッフは、体育館に入る前に手指の消毒後に入場
- (5) マスク
 - ・選手、監督・コーチ、大会スタッフは、常時マスクを着用する。
 - ・選手はウォーミングアップ及び試合ではマスクを外す。
- (6) 手袋
 - ・大会スタッフは業務を実施する場合は、手袋（ゴム手袋）を着けて行う。
- (7) 受付事務
 - ・受付は行わない。上記（3）①を受付とする。
 - ・欠席者の報告のみ、本部まで連絡する。

- ・参加費は事前振込とする。
 - ・パンフレットは配布しない。事前に小連 HP からダウンロード。
 - ・参加賞の配布もなし。
- (8) 選手、監督・コーチの待機席
- ・選手、監督・コーチは指定されたエリアで待機する。
 - ・席は1席あけて座る。
 - ・昼食は指定されたエリアで食べる。
- (9) 応援
- ・声を出して応援は禁止
 - ・指定された席で拍手のみ
- (10) 開・閉会式及び表彰式、監督者会議、審判会議
- ・開会式及び閉会式は実施しない
 - ・表彰式は実施しない。
試合終了後、個別対応で賞状等を授与する。
 - ・監督者会議、審判会議は実施しない
(HP 掲載の競技上の注意事項を参照。また、8/2 組み合わせ会議での説明を参照)
- (11) 会場への出入り
- ・会場に入る時はチーム毎に間隔をあけて入る。
 - ・下駄箱の利用は禁止し、下足はシューズケースに入れて各自保管する。
- (12) 競技会場（競技スペース）
- ・石岡、下館とも両メイン会場はエアコンを使用する
 - ・石岡、下館ともメイン会場の喚起は1時間ごとに10分間、喚起する。
試合を止めるタイミングは本部が設定した時間に実施。
本部より放送にて連絡する。
 - ・石岡のサブコートは、エアコンは使用せず（風量の調整不可）、扉を開けて対応
 - ・コートサイドには各自バックを持参させ、飲み物も各自バックに収納する
 - ・コーチ席は1席とし、バックバウンダリーライン後方とする
 - ・線審は試合終了後に線審用椅子を消毒する。
 - ・消毒液は各コートに2本用意
- (13) 試合中の選手及び監督・コーチ
- ・選手同士及び選手と主審の握手はしない
 - ・試合中、意識的に声出しはしない。
 - ・プレーヤ同士やコーチとのハイタッチ等の接触は行わない。
 - ・インターバル中のアドバイスは必要最小限に短時間で行う。
- (14) 審判員
- ・審判員は大会当日の朝、様式に記載した人で実施する。
チーム内での交換は不可。
 - ・各コート4人制とし、主審1名、線審2名（1名は得点係兼ねる）、待機1名
※審判員の協力人数により、負けた選手が線審を担当する場合もある。
 - ・審判員はすべてフェイスシールド、マスクと手袋（ゴム手袋）を着用する。
 - ・選手とは握手はしない
 - ・コールは最小限とし、プレイ、フォルト、インターバル、インターバル時の20秒コール、レット、ゲームとする
 - ・ポイントのコールはしなくてもいいが、リズムがつかめない場合は、小さな声でコールしてもいい。
 - ・選手紹介のコールはしない
 - ・線審のアウトのコールはしない。両手を広げて合図する。
 - ・主審は、勝者サインをもらった後、スコアシートはレフェリーに、板、鉛筆、シャトルは本部に提出

- ・主審は、レフェリーが確認している間は、距離をとって待機。
- ・レフェリーは得点、ゲーム数、勝者と敗者が逆等、試合結果に係る誤記入項目のみ主審に確認する。

(15) 大会本部

- ・担当者間のスペースを確保できるように配置する。
- ・大会本部の担当者はマスクを常時着用し、手袋（ゴム手袋）を着用する
- ・ゲーム終了後のスコア用紙の板、鉛筆、使えるシャトルは消毒する。
スコア用紙の板は、今回からプラスチック製
- ・試合結果は体育館外（検温した場所）の掲示板に記載
- ・大会本部のレイアウトは別紙3参照

(16) 選手召集

- ・召集場所はフィジカルディスタンスを保って設定する。
召集場所はロビーとする。

(17) その他

- ・「いばらきアマビエちゃん」の登録
大会当日、体育館に入る監督・コーチ・保護者及び大会スタッフは体育館で、いばらきアマビエちゃんの登録をする。
- ・大会本部や昼食時のお茶出しは不要